

DAISY 図書のつくりかた—音訳ボランティア活動報告

祖父江長良 京都府立総合資料館

Digital Accessible Information SYstem

①視覚障害について

視覚障害で身体障害者手帳の交付を受けている人は平成 18 年の統計によると
全国で 315,000 人『障害者白書』、京都府では 10,849 人『京都府統計書』

交付対象者の範囲

両眼の視力が 0.1 以下、一眼の視力が 0.02 以下他眼が 0.6 以下、両眼の視野が 10 度以内、
両眼による視野の 1/2 以上が欠けているもの 『障害者保健福祉のしおり』
…とありますが全盲の方から弱視の方まで「見えない」「見えにくい」と見え方は様々です。

②視覚障害者の図書館利用

著作権法

第 37 条 (点字による複製等)

3 点字図書館その他の視覚障害者の福祉の増進を目的とする施設で政令で定めるもの
においては、公表された著作物について、専ら視覚障害者向けの貸出しの用若しくは自動公
衆送信(送信可能化を含む。以下この項において同じ。)の用に供するために録音し、又
は専ら視覚障害者の用に供するために、その録音物を用いて自動公衆送信を行うことがで
きる。 ———平成 18 3 項一部改正

第 38 条 (営利を目的としない上演等)

郵便料金

特定点字郵便物・特定録音郵便物 は送料無料(3kg まで)

指定する施設から差し出し、又はこれらの施設あてに差し出されたものに限る。

(参考)日本図書館協会障害者サービス委員会 <http://www.jla.or.jp/lsh/guideline0504.html>

③京都ライトハウス

利用者の資格は障害者手帳を持っている人。等級は関係ない。

2007 年度総貸出数 40,000 タイトルを超える

利用者数 2,462 人(手帳保持数の 20%)

貸出タイトル数 デイジーがテープの 2 倍以上

デイジー機器を利用できる方 3 割程度

点字:録音 1:8 '04 年度 → 1:16 '08 年 3 月 『情報ステーションだより』

④音訳図書

ないーぶネット <https://www.naiiv.gr.jp/>

<例> 「有頂天家族」 森見登美彦著 357p	2007.9 幻冬舎刊
点字 5巻 718 ページ	2008.4 完成
カセットテープ 7巻 9時間40分	2008.6 完成
デジター CD 1巻	2008.7 完成

⑤音訳ボランティア活動あれこれ

・ボランティア養成

音訳者の研究会。月1回、経験年数に合わせたグループで集まり発声練習から読み方の共通認識を学ぶ。講師もボランティア。

・雑誌・新聞音訳など

その日の新聞の録音。ライトハウス各階のロビーで読める(聴ける)。

新刊案内・図書案内他、自館製作雑誌。

・プライベート音訳

個人依頼の録音図書。原本、テープ、CD代は実費。デジターと点字は京都府下の方のみ。

・対面朗読

持ち込み資料の朗読。2時間程度 事前の申込

・読み書き

なんでも読んだり書いたりするサービス。情報ステーションの一室にボランティア2名が常駐して対応。 申込不要 月～土 10:00～16:00

☆京都ライトハウス情報ステーション 開館:月～金 10:00～19:00 土～17:00

<http://www.kyoto-lighthouse.or.jp/>

DAISY 図書のつくりかた

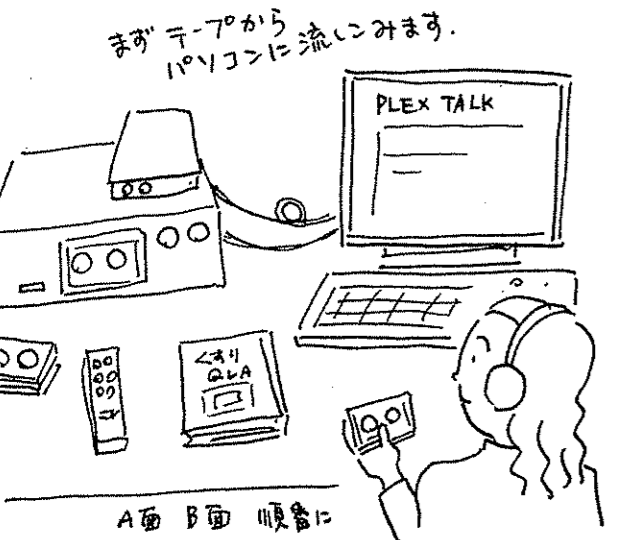
1 選書 →音訳者へ



3 録音



8 デイジー編集



2 調査



4 校正 (第1校)



漢字の読み に マクセント



5 録音 (直し)



9 装丁・目録



6 校正 (第2校)



10 貸出



校正表 [1校]
書名 <すずりQ&A>

差出人	原文	音訳者の読み	校正者の読み(併録)
1/5/7	入るのと	入るのそ	
1/8-3	ことばあるた	ことばあるた	消し取り

